

国立大学法人富山大学入札監視委員会定例会議議事概要

開催日及び場所	令和4年7月6日(水) 事務局共通打合せ室(2)	
委 員	委員長 山本 直俊(弁護士) 委員 大村 啓三(公認会計士) 委員 光田 章((一財)富山県建築住宅センター専務理事)	
審議対象期間	令和3年4月1日 ~ 令和4年3月31日	
抽出案件(合計)	14 件	(備考) 今回の審議対象期間においては、再苦情の申立て及び同審議依頼はなし。
建設工事(小計)	12 件	
一般競争入札 (政府調達に関する協定対象工事)	0 件	
一般競争入札 (上記工事を除く)	11 件	
工事希望型競争入札	0 件	
通常指名競争入札	0 件	
随意契約	1 件	
設計・コンサルティング業務(小計)	2 件	
公募型プロポーザル方式	0 件	
簡易公募型プロポーザル方式	0 件	
簡易公募型プロポーザル方式(拡大)	0 件	
標準型プロポーザル方式	1 件	
一般競争入札	1 件	
随意契約	0 件	
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問	回 答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	

質 問	回 答
<p>1. 国立大学法人富山大学において発注した建設工事について（令和3年4月～令和4年3月分） （施設企画部より説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし <p>2. 建設工事における抽出案件の審議 （施設企画部より説明）</p> <p>案件1；(五福他) 基幹・環境整備（衛生対策等） 講義室コンセント取設工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事場所が3キャンパスに分散しているが、現場監理のための技術者の運用はどのようにしていたか。 ・入札した7者のうち5者の入札金額が最低基準価格を下回ったことを踏まえると、予定価格が高く積算されていたのではないか。 <p>案件2；(五福) 水素同位体科学研究センター給排水設備改修工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・結果として予定価格を半額以上も下回る落札金額となっているが、業者の積算漏れはなかったか。 <p>案件3；(五福) 人間発達科学部第3棟改修電気設備工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低入札価格調査を実施する場合、入札金額の根拠となる見積書の写しは提出させるか。 ・辞退理由はこういったものであったか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし <ul style="list-style-type: none"> ・各キャンパス間で施工時期が重複しないように調整した上で、1人の主任技術者が全ての現場を担当していた。 ・本学としては、積算資料等を利用し適正な予定価格を算出したと考えている。最低基準価格を下回る入札が相次いだのは、あくまで各業者が企業努力した結果だと考えている。 ・業者に確認したところ、特段の漏れはないとのことであった。 ・根拠となる見積書も含めて様々な資料を提出してもらうことになる。本件についてもそういった提出資料を確認した上で問題ないと判断した。 ・先に他の工事案件を落札したために予定していた技術者を配置できなくなったことなどである。

質 問	回 答
<p>案件4 ; (五福) 人間発達科学部第3棟改修機械設備工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見積合わせの回数に制限を設けていないのか。 ・当初の入札金額から半額近く下回る金額で落札しているが問題はないか。 ・不落随契の見積合わせ前に業者と打ち合わせをし、業者側で根本的な仕様の捉え違いが発覚したのならば、1回目で大幅に減額した見積金額を提示してきたはず。これほど見積合わせの回数を重ねることになるのだろうか。 ・これほどの回数の入札・見積を1日で実施したのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見積合わせは、業者の落札意思がある限り無制限としている。 ・本学の入札への参加経験がないということで安全率を加味した金額で入札したのだろうと考えられる。本学としては、積算基準等に基づき予定価格を適正に算出している。そのことは業者に伝えた上で、予定価格の範囲内に収まるまで見積合わせを継続した。 ・打ち合わせ時に相違点は業者に伝達している。その上で、業者の意思で見積回数を重ねることになった。 ・2回入札した後に業者との打ち合わせを実施し、別日に見積合わせを実施した。
<p>案件5 ; 附属病院北病棟7階感染症病室その他工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不落随契の見積合わせを実施した場合で業者が辞退することはあるか。 ・不落随契の対象となり得る業者が2者いる場合はどうなるか。 ・1回目の公告の際はどのような状況であったか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・業者の都合で辞退の意思表示をされる場合もある。 ・直近の入札金額がより安価な業者を対象とする。 ・1者を参加資格ありとしたものの、入札時に辞退された。
<p>案件6 ; (高岡) A・B1棟屋上防水改修工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・落札業者はどこに所在しているか。 ・低入札価格調査において、下請へのしわ寄せの有無等はどのように確認しているか。大学の場合、県とは違い、失格の基準が無い。理屈がつけば何でもありになってしまうように思われる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高岡市である。 ・具体的な内容については、案件ごとに個別に判断している。

質 問	回 答
<p>案件 7 ; (杉谷) ライフライン再生 (排水設備) 工 事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・落札した業者は別件の建築一式工事にも参加しているようだが、管工事と建築一式工事のどちらを主にしているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・管工事である。
<p>案件 8 ; (杉谷) 総合研究棟 (医学系) 改修工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事金額が大きい案件なのでもっと参加者がいるかと思ったが、思ったよりも少なく感じる。何か原因はあるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本件については、建築一式工事の A 等級及び B 等級の資格を有する業者を対象として門戸を広げて募集したが、結果として参加者が少なかった。多くの企業で技術者が不足しており、本件においても要件を満たす技術者を配置できる業者が少なかったと分析している。
<p>案件 9 ; (杉谷) 総合研究棟 (医学系) 機械設備改修工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本件の落札業者は同日開札の他の案件も落札しているが、それは認められるのか。県の入札工事の場合は、一度落札するとその日のそれ以降の入札では自動的に排除されることになるのだが。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本学では、配置される技術者が建設業法上の専任要件に反しない限りは問題ないものとして認めている。
<p>案件 1 0 ; (五福) 人文学部校舎屋上防水等改修工 事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし。 	
<p>案件 1 1 ; (五艘) 人間発達科学部附属中学校校舎外壁等改修工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事内容はどのようなものか。 ・本件の落札業者については、同様の期間内に入札工事を 3 件請け負うことになったが、そういったことはあり得るか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外壁塗装の吹付である。 ・本学の発注工事ではしばしば起こり得ることである。

質 問	回 答
<p>案件 1 2 ; 附属病院医療用無停電電源装置改修工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 予定価格と落札金額が一致したのは偶然か。 <p>3. 国立大学法人富山大学において発注した設計・コンサルティング業務について（令和 3 年 4 月～令和 4 年 3 月分） （施設企画部より説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特になし。 <p>4. 設計・コンサルティング業務における抽出案件の審議 （施設企画部より説明）</p> <p>案件 1 ; (高岡他) 図書館等改修設計業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本件については、基本設計でなく、実施設計であるか。 ・ 特定された業者が見積合わせで辞退することはあり得るか。 ・ 予定価格算出にあたり、設計にかかる人工は考慮しているか。 ・ 業者から提出された企画提案書に業務にかかる金額は記載されているか。 <p>案件 2 ; 五福宿舍 3 号棟改修設計業務（建築・設備（I 期））</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 落札業者はどこに所在しているか。 ・ 打ち合わせなどで大学に来ることもあると思うが、それにかかる旅費も業務金額に見込まれているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ そうである。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施設計である。 ・ あり得る。特定された業者が辞退された場合は次順位の業者と見積合わせを実施することになる。 ・ 予定価格算出にあたっては、人工、図面枚数、難易度などを考慮している。 ・ 金額は記載しない。企画提案の内容で判断している。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 岐阜県である。 ・ 旅費は見込んでいない。

質 問	回 答
<p>4. 指名停止等の措置状況について (施設企画部より説明)</p> <p>特になし。</p> <p>5. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 不落随契の見積合わせについて、回数制限を設けた方が良いのではないか。 <p>以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> 随意契約の場合、業者としては少しずつ見積金額を下げて利益を残そうとしてくるので、見積回数が多くなる傾向にある。見積回数が少なければ手間がかからないので良いとは思っているが、どうなるかは業者の出方に左右されているというのが現状である。しかしながら、見積回数に上限を設けたことにより、入札不調となって工期などに影響する方が重大だと思っているので見積回数制限は設けない方向で進めたい。